

接続語 レベル4

日 前
月 名

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

僕たちの住むこの世界には、たくさんの方が問題があふれています。(1) **イ**、難民問題、各地における宗教的な対立、経済格差による貧困など、挙げれば切りがありません。中でも(2) **ア**、地球環境の保護は、世界全体で取り組むべき緊急の課題です。(3) **エ**、人間は土地をお金で買って、自分たちの所有物にすることがかきりに一生懸命になってきたよう気がします。(4) **オ**、それでは地球は単なる資源として利用されて傷つくばかりです。これから、僕たち人間がやるべきことは、欲を忘れて分け合うことです。動物や植物や昆虫たちと一緒に地球という場所を分け合って、(5) **ウ**、ひとつの生物として、謙虚に生きる事なのです。

ア 特に イ 例えば ウ いわば エ 今まで オ でも
 (1) **イ** (例をあげる) (2) **ア** (いくつもある問題の中でも重要なもの)
 (3) **エ** (過去のこと) (4) **オ** (期待に反する内容) (5) **ウ** (言い換える)
 2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

西洋人は人間と自然とをはっきりと区別することを当然と考えている。(6) **コ**、日本人は自然と一体となって生きることを好んできた。(7) **ケ**、伝統的な日本の家は木や土を使って作られ、外と内との境界があいまいな構造を持っている。盆栽はそのような日本人が、自然を屋内に引き込んだものとして解釈できる。(8) **キ** 盆栽は時に、天然自然以上の自然美を表現することさえもある。日本における盆栽の歴史は(9) **カ** 長く、文献上の記録では、平安初期の段階で盆栽らしきものが認められる。(10) **ク** 「盆栽」という呼び方が通用し始めたのは江戸中期の頃であり、「盆山」「鉢木」というのが「盆栽」の古称であった。

カ 実に キ しかも ク ただし ケ だから コ だが
 (6) **コ** (対立する内容) (7) **ケ** (原因から結果)
 (9) **カ** (強調する) (10) **ク** (付け足し)
 (8) **キ** (重要な内容を加える)

